診療科長に聴く

産婦人科編

Vol.11

産婦人科　教授
フタガミ　マサユキ
二神　真行

本日は、産婦人科の診療科長である二神真行教授の専門分野をお伺いします。

Q：産婦人科の診療科長である二神真行教授の専門分野をお伺いします。
学会の資格や役員、授賞歴もお願いします。

A：専門分野；婦人科腫瘍（特に悪性腫瘍）、婦人科細胞診・病理診、緩和医療、アロマテラピー
専門医；日本産婦人科専門医（指導医）、婦人科腫瘍専門医（指導医）、細胞診専門医（教育指導医）
役職；日本婦人科腫瘍学会、日本臨床細胞学会の評議員。日本アロマテラピー学会特任理事、産婦人科部会長。
受賞歴；緩和医療に関するテーマで、日本癌治療学会優秀演題賞2回（2014、2018年）

Q：産婦人科は、どのような疾患を対象にしていますでしょうか？

A：主に婦人科と産科を対象にしております。専門医がいないため生殖医療は行っておりません。婦人科は悪性腫瘍や子宮筋腫、子宮内膜症などの良性腫瘍、更年期障害、月経異常、骨盤臓器脱などほぼ全般行っております。産科は妊娠、分娩管理を行っております。ハイリスク妊娠と判断した場合には、周産期拠点病院へ紹介しております。無痛分娩も半数近くの症例で行っております。

Q：二神先生が工夫している手術や治療技術はどのようなものでしょうか？

A：私はこれまで1000例以上の手術を行っております。当たり前のことですが、手術が必要な症例に、手術を行うということを心がけております。行う以上は合併症の少ない手術を心がけています。私が赴任して3年ほどになりますが、アクシデンタルな泌尿器、腸管合併症はほとんど起きておりません。開腹の悪性腫瘍の手術が得意で、早く正確に手術を行うことを心がけております。

Q：二神先生は、手術以外にも、ご婦人の病気の診断、薬物療法など様々診療を行っていると思いますが、診療内容について教えてください？

A：良性の疾患においては、ホルモン治療や漢方薬等を行い症状の軽減に努めています。更年期障害の方には患者さんの状態に応じた治療を提供しております。

（裏面に続く）

東京医科大学茨城医療センター
〒300-0395　茨城県稲敷郡阿見町中央3-20-1 / TEL 029-887-1161
各診療科外来担当医につきましては、当院ホームページをご確認下さい。
https://ksm.tokyo-med.ac.jp/
紹介患者・医療連携については、総合相談支援センター　医療連携まで

（表面から続く）

子宮脱をはじめとした骨盤臓器脱に関しては、リングペッサリーを行い、手術適応・希望のある方には近隣及び本院への紹介を行っております。 子宮体癌に関して、妊娠を希望される方で条件を満たす方には、積極的に高用量の黄体ホルモン療法も行っております。

Q：産婦人科のスタッフや得意分野について教えてください？

A：鷺坂助教、渡邊助教は腹腔鏡手術が得意であり、川島助教は子宮鏡手術が得意です。
葉梨医師は女性医師で優しい方です。
また彼ら4名は硬膜外麻酔を用いた無痛分娩の経験が豊富です。

Q：大学の産婦人科として、 行っている研究活動にはどのようなものありますか？

A：日本産婦人科学会の研究活動や東京医科大学本院の研究活動に参加しております。
アロマテラピーに関する婦人科の治療研究も行っていく予定です。

Q：産婦人科として、患者さんを診る上で診療のポリシーとしているものは、何でしょうか？

A：患者さんが望まない治療は、 基本的に行わないことにしております。 また例えば、子宮体癌という病気でも、進行期や組織型が異なれば治療法は異なることもあります。なにより患者さんは皆置かれている状況が異なります。その状況をふまえた上で治療方針を決めていきたいと考えています。自分たちの限界も考えつつ、必要な場合はより高次施設への紹介も行いたいと思います。

Q：受診する患者さまに一言お願いします。

A：人類の約半数の方は女性です。 男性を見ることは新生児以外ほぼない科ですが、カバーしている領域は人類の半数とも言えるでしょう。赤ちゃんから高齢の方まで女性であれば私どもの守備範囲です。大学病院とはいえ、かなり敷居が低いと思っておりますので、お気軽にご相談いただき対応させていただければと思います。